

# 福島第一原発事故の 環境放射能動態解析学

福島第一原発事故で放出された放射性物質の環境への影響について、  
大気、海洋、陸域における化学形態の変化から分析し、  
”環境放射能動態解析学“の今後の展望について議論します。

日時：2018年7月5日(木) 14:15 - 16:45

場所：東京大学弥生講堂一条ホール(文京区弥生1-1-1)

座長 森口 祐一 氏(東京大学大学院工学系研究科)

- (1) 大気輸送モデルを用いた放射性同位体輸送シミュレーション  
滝川 雅之 氏(海洋研究開発機構 北極環境変動総合研究センター)
- (2) 河川に流出する放射性物質の濃度とフラックスと土地利用の関係  
恩田 裕一 氏(筑波大学アイソトープ環境動態研究センター)
- (3) 海洋の動態  
山田 正俊 氏(弘前大学被ばく医療総合研究所)
- (4) 環境中の放射性物質動態の農業への影響  
信濃 卓郎 氏(農業・食品産業総合研究機構 東北農業研究センター)
- (5) 土壌-河川-河口-海洋系でのセシウムの移行に関する素過程の解析  
高橋 嘉夫 氏(東京大学大学院理学系研究科)

詳細はコチラからもご覧いただけます。

[https://www.jrias.or.jp/isotope\\_conference/symposium/index.html](https://www.jrias.or.jp/isotope_conference/symposium/index.html)

## 参加無料